

募集

シルバーピア「あいはら」入居者

シルバーピアとは、高齢者に配慮した仕様(段差解消・手すり、緊急通報等)を備え、安否確認等を行う生活協力員が配置された住宅です。

①市内に3年以上居住している満65歳以上の単身者で自立した生活を営める②平成30年中の所得が256万8000円以内である③立ち退きなどで住宅に困窮している

募集戸数 単身用1DK1戸

入居時期 7月1日以降

申込用紙配布期間 3月16日～30日

申込用紙配布場所 高齢者福祉課(市庁舎1階)、各市民センター、各連絡所

※各施設で開所日時が異なります。

申込用紙に必要事項を記入し、3月30日まで(必着)に直接または郵送で高齢者福祉課へ。

高齢者福祉課 ☎724・2141

町田市市民センター等のあり方検討委員会

市民委員

「町田市5ヵ年計画17-21」及び「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」に基づき、10年・20年先の市民ニーズや環境変化を見据えた市民センター等の機能や量、配置場所について検討し、2020年度に計画を策定します。

策定に際して、さまざまな方の声を計画に広く反映するため委員会を立ち上げます。その構成員としての市民委員を募集します。

市内在住で、市の他の審議会や懇談会等の委員と重複していない方 ※詳細は募集要項をご覧ください。

任期 委嘱日～2021年3月31日

募集人数 2人

選考 1次＝書類、2次＝面接 ※結果は応募者全員にお知らせします。申込書は返却しません。

募集要項を参照し、申込書を3月30日午後5時まで(消印有効)に直接、郵送、FAXまたはEメールで市民総務課(市庁舎2階)へ。

※募集要項、申込書等は町田市ホームページでダウンロードできます。郵送やEメールでの送付を希望する方は、ご連絡ください。

市民総務課 ☎724・4346

認知症高齢者グループホーム「いこいの郷 花梨・南大谷」入居者

認知症高齢者グループホームが新しく開設しました。

※入居者の決定方法は申し込み順ではありません。入居の必要性等を総合的に判断して決定します。

定員 18人(全室個室)

申込書(いこいの郷 花梨・南大谷で配布)に記入し、直接または郵送でいこいの郷 花梨・南大谷(〒194-0031、南大谷1658-6、☎732・5570 FAX724・1050)へ。

※申込書は電話、FAXで取り寄せ

(郵送)できます。 ※入居に関するご相談は施設へお問い合わせください。

問い合わせ 総務課 ☎724・3291

農業ボランティア研修生

野菜作りのノウハウを学び、農家の農作業を手伝い、農家を支援する農業ボランティア研修生を募集します。

農家への農作業支援等、都市農業の参加に関心がある方(農業経験のない方の申し込みも歓迎)

研修期間 4月～2021年1月の毎週土曜日、午前9時～正午

場 町田ぼたん園、七国山ファーマーズセンターそばの七国山農業研修農園(野津田町)

定員 10人程度(申し込み順)

費用 3万円

申込 農業ボランティア育成研修生申

申し込み)と書き、住所・氏名・電話番号(FAX番号・Eメールアドレスがあれば併せて)を明記し、3月31日までにFAXで(特)たがやす ☎794・9002)へ。

(特)たがやす ☎090・3435・8611、町田市農業振興課 ☎724・2166

お知らせ

商工組合中央金庫各店舗での町田市税等の納付受付を終了します

商工組合中央金庫は、3月31日をもって町田市税等の納付受付業務を終了します。4月1日以降は、納付書の裏面等に記載の取扱窓口をご利用ください。

会計課 ☎724・2196

「町田市仕事と家庭の両立推進企業賞」受賞企業が決定

男女平等推進センター ☎723・2908

市では仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の効果的な推進を目的として、従業員の仕事と家庭の両立を支援し、男女ともに働きやすい職場環境づくりを積極的に進める市内企業を表彰しています。

この度、(有)蔵家が「第12回町田市仕事と家庭の両立推進企業賞」を受賞し、3月5日に表彰式を行いました。

蔵家は、法定を上回る育児・介護休業規定を設け、特に男性の育児休業取得を推奨しています。

また、勤務時間の融通が利くように配慮しています。中小企業としては珍しい福利厚生として保養所も所有しています。



(有)蔵家代表取締役・浅沼芳征氏、専務取締役・浅沼清子氏と石坂市長

カワセミ通信158

町田市長 石坂丈一

暖冬になると予報されていた今季の冬、予想以上の暖冬になりました。庭の暖地桜桃(サクラノボの一種)も今月初めに満開になり、既に若葉になりました。広袴不動尊の境内の馬酔木も満開を過ぎ、季節は本格的な春になろうとしています。野鳥も、先月からシジュウカラ、ヤマガラ、カワラヒワなどの囀りが聞こえるようになり、ウグイスの初鳴きの便りも届いています。

さて、今月初めに、12回目となる「町田市仕事と家庭の両立推進企業賞」の表彰式を開催しました。この賞は2008年度にスタートしたもので、少子高齢化の時代に、家庭での生活と仕事との両面で働く人を大切にしている企業・事業所を表彰するもので、これまで31社を表彰しています。

今年度の表彰は1社で、木曾西にある酒類販売の事業者「(有)蔵家」でした。「蔵家」では、育児・介護休業の促進や男性の育児休業取得の推進をしています。また、ハラスメント防止の窓口を社外に設けています。さらに、社員の自主性を尊重し、業務シフト表は社長ではなく社員が輪番で作成しています(右上に関連記事があります)。

最近でこそ「働き方改革」などと呼ばれ、日本社会全体とし

て、今の働き方を見直そう、変えようという動きになっていますが、この賞がスタートした12年前には、家庭と仕事の両立の課題について、政府も企業もまだまだ断片的な取り組みだったと記憶しています。

若年人口の減少、生産年齢人口の減少は、さまざまな職業における担い手不足となって現れています。これに対処するためには、生産性の向上と同時に、時間外労働の削減や休暇の取得促進などを着実に進めなければなりません。それが進まなければ、従業員の確保も定着も進まず、また、介護や育児などを含めた家庭生活の安定と負担の軽減は机上の計画になってしまいます。

この表彰制度は、規模は小さなものですが、表彰事業者・企業を広く市民や取引先に紹介し、ワーク・ライフ・バランスの社会全体での推進に少しでも寄与しようとするものです。



ヤマガラ

受賞者を表彰しました 創作童話コンクール

児童青少年課 ☎724・4097

「第23回町田市創作童話コンクール」の応募作品の中から、27人の受賞者が決定し、2月2日に表彰式と作品発表会を子ども創造キャンパスひなた村で行いました。

受賞者は次の方々です(敬称略、カッコ内は学校名)。

- 小学校低学年の部
 - 【市長賞】清水陽奈子(南成瀬小3年)
 - 【教育長賞】佐藤琉惺(南成瀬小3年)
 - 【東京町田・中ロータリークラブ会長賞】高戸潤樹(成瀬中央小3年)
 - 【審査員特別賞】中尾咲智(南つくし野小3年)
 - 【ひなた村賞】木村玲織(南成瀬小3年)、鈴木彩音(南三小3年)、岡本心音(成瀬中央小3年)、伊藤羽湖(成瀬中央小3年)、吉田真帆(南つくし野小1年)
- 小学校高学年の部
 - 【市長賞】丸地優衣(南成瀬小5年)
 - 【教育長賞】砥綿厚希(南成瀬小4年)
 - 【東京町田・中ロータリークラブ会長賞】渡辺和奏(南成瀬小4年)
 - 【審査員特別賞】樋口春瑠(南成瀬小5年)
 - 【ひなた村賞】小野智治(南成瀬小4年)、立石海音(高ヶ坂小6年)、井上咲佳(南成瀬小6年)、廣瀬小遥(南成瀬小4年)、鈴木さくら(南三小6年)
- 中学校・高等学校の部
 - 【市長賞】花里寛海(鶴川二中3年)
 - 【教育長賞】小野三花(鶴川二中1年)
 - 【東京町田・中ロータリークラブ会長賞】久保みなつ(都立町田高校1年)
 - 【審査員特別賞】上野遥(鶴川二中2年)
 - 【ひなた村賞】福井百花(鶴川二中1年)、大八木晴果(鶴川二中1年)、三上優理愛(南中3年)、由雄心望(鶴川二中1年)、澤島隆晟(鶴川二中2年)

※各部門の上位4賞の作品を掲載した優秀作品集「童話の木」を市政情報課(市庁舎1階)で4月から販売予定です。



審査員の映画作家・大林宣彦氏、映像作家・小林はくどう氏から講評がありました